

令和3年度

「基礎学力調査」

— 結果の概要 —

令和3年8月
石川県教育委員会

目 次

I 調査の概要

1 調査の目的	1
2 調査の対象等	1
(1) 児童生徒に対する調査	
(2) 教員に対する調査	
3 調査の日時	2
[本書における留意事項]	3

II 調査結果

1 教科に関する調査結果	4
《小学校第4学年 国語》	4
《小学校第4学年 算数》	6
《小学校第6学年 社会》	8
《小学校第6学年 理科》	10
《中学校第3学年 社会》	12
《中学校第3学年 理科》	14
《中学校第3学年 英語》	16
2 質問紙調査結果	18
《小学校第4学年》	18
《小学校第6学年》	22
《中学校第3学年》	24
《小学校教員》	26
《中学校教員》	28

I 調査の概要

1 調査の目的

児童生徒の基礎的・基本的な知識・技能や活用力の定着状況，及び学習・生活状況について把握・分析し，学校における児童生徒への指導の改善を図る。併せて，教員の指導状況等を把握し，指導改善に役立てる。

2 調査の対象等

(1) 児童生徒に対する調査

○ 教科に関する調査

全公立小・中学校（義務教育学校を含む）における次の学年の全児童生徒を対象に調査した。

ただし，調査の集計・分析については，各学校対象学年から無作為に1学級ずつを抽出して行った。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施校数	201校	201校	84校
実施児童生徒数	9,171人	9,050人	9,058人
対象教科	国語・算数	社会・理科	社会・理科・英語
調査問題の範囲	小学校3年生までに学習した内容	小学校5年生までに学習した内容	中学校2年生までに学習した内容

○ 質問紙調査

教科に関する調査における集計・分析の抽出学級（各学校対象学年1学級）の児童生徒を対象に調査した。

区 分	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
実施児童生徒数	4,327人	4,715人	2,441人
調査の内容	学習に対する意識や家庭学習，生活習慣などの状況等に関する内容		

(2) 教員に対する調査

○ 質問紙調査

抽出した小・中学校（義務教育学校を含む）における教員を対象に調査した。

区 分	小学校	中学校
実 施 校 数	67 校	32 校
実 施 教 員 数	1,090 人	676 人
調 査 の 内 容	授業における指導状況等に関する内容	

3 調査の日時

令和3年5月26日（水）

区 分	時限	小学校第4学年	小学校第6学年	中学校第3学年
教科に関する調査	1 限	国語（40分）	社会（40分）	社会（45分）
	2 限	算数（40分）	理科（40分）	理科（45分）
	3 限			英語（45分）
質 問 紙 調 査	提出日までに、各学校の状況に応じて実施			

到達状況について

正答率の状況により，児童生徒の到達状況を次のように表記した。

正 答 率	「到達状況」を示す記号，用語
90%以上の場合	◎：良好である
80%以上～90%未満の場合	○：概ね良好である
70%以上～80%未満の場合	◇：基準に到達している
60%以上～70%未満の場合	▽：十分とはいえない
60%未満の場合	▼：不十分である

※ 正答率とは，全問題数に対する正答と準正答（内容的に正答に近く，概ね身に付けていると判断できる解答）を合計した数の割合のことをいう。

Ⅱ 調査結果

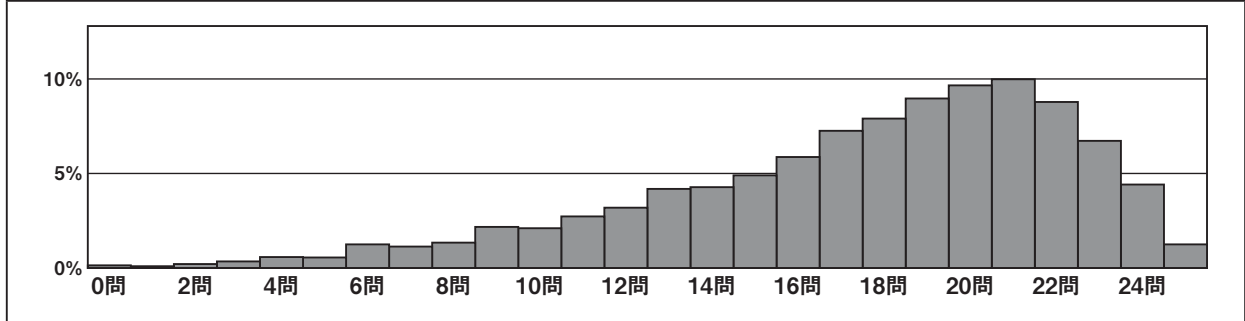
1 教科に関する調査結果

《小学校第4学年 国語》

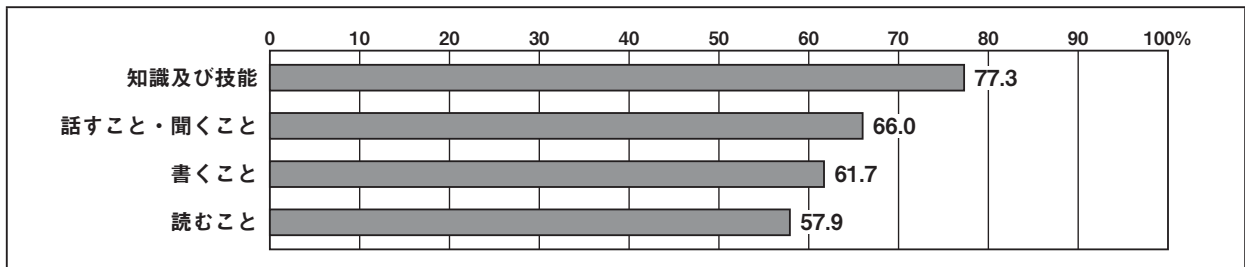
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,327人	69.9%	17.5問／25問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	七④ 漢字の読み (通る)	92.7
2	三③ 主語と述語の照応関係	90.3
3	二③ 情報の整理 (図鑑の調べ方)	89.9

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	二④ 考えの形成, 引用	13.5
2	八②表記 推敲 (表記)	35.7
3	五① ローマ字の書き (そば)	51.4

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	五② ローマ字の読み (ISHIKAWA)	9.5
2	八② 文章全体における段落の構成 (条件), 考えの形成 (内容), 推敲 (表記)	8.1
3	一② 話の中心を捉える聞き方 (聞き方の工夫)	7.5

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】 ◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

<p>【知識及び技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎：主語と述語との関係について気付くこと〔三③〕 ▽：修飾と被修飾との関係に気を付けて、文の構成を理解すること〔四〕 <p>【話すこと・聞くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇：目的を意識して、集めた材料を比較したり分類したりして、伝え合うために必要な事柄を選ぶこと、観点を明確にして、情報を整理すること〔一④〕 ▽：聞いた事柄を基に分からない点を質問すること〔一②〕 <p>【書くこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○：書く内容の中心を明確にして、内容のまとまりで段落をつくること〔八②条件〕 ▼：相手や目的を意識した表現に着目して、文や文章を整えること、漢字と仮名を用いた表記、送り仮名の付け方、改行の仕方、句読点の打ち方を理解して文や文章の中で使うこと〔八②表記〕 <p>【読むこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇：段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由との関係について、叙述を基に捉えること〔二①〕 ▼：文章の一部を引用して、分かったことを説明すること〔二④〕

【各設問の正答率等】

小学校第4学年（国語）

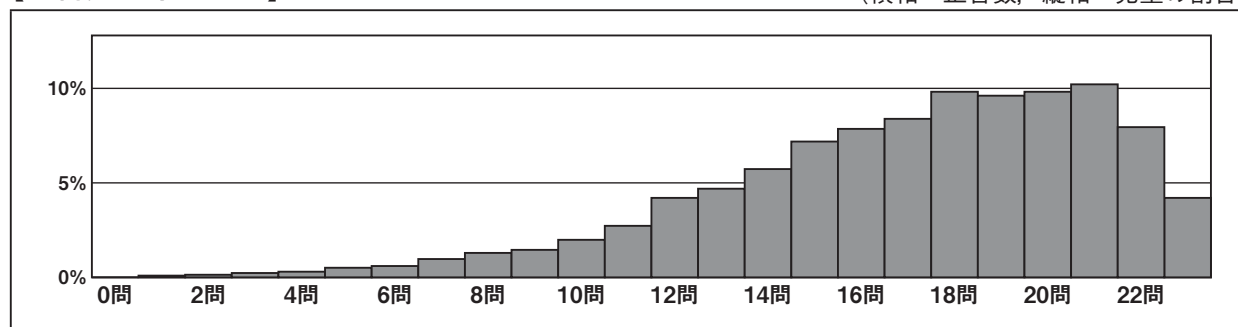
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合（％）				
			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答
一	話すこと 聞くこと	話合いの進め方（司会の役割）		○		66.0	66.0	0.0	33.6	0.4
		話の中心を捉える聞き方（聞き方の工夫）		○		60.1	36.7	23.3	32.4	7.5
		構成の検討（話し方の工夫）		○		59.3	59.3	0.0	40.3	0.4
		必要な事柄を選ぶ，情報の整理	○	○		78.5	78.5	0.0	21.0	0.5
二	読むこと	説明的な文章の構造と内容の把握	○	○		72.4	72.4	0.0	26.5	1.1
		説明的文章の精査・解釈，考えの形成		○		55.7	54.5	1.2	40.4	3.9
		情報の整理（図鑑の調べ方）	○			89.9	89.9	0.0	7.9	2.1
		考えの形成，引用		○		13.5	11.5	2.1	84.1	2.4
三	知識及び技能	国語辞典の使い方	○			70.1	70.0	0.2	25.5	4.4
		指示語	○			72.5	72.5	0.0	20.6	6.8
		主語と述語の照応関係	○			90.3	90.3	0.0	8.0	1.7
		事典の使い方	○			71.7	71.7	0.0	26.4	1.9
四	知識及び技能	修飾と被修飾の関係	○			64.9	64.9	0.0	31.7	3.4
五	知識及び技能	ローマ字の書き（そば）	○			51.4	51.4	0.0	43.2	5.4
		ローマ字の読み（ISHIKAWA）	○			73.6	73.6	0.0	16.9	9.5
		ローマ字の読み（kitte）	○			86.2	86.2	0.1	9.3	4.4
六	知識及び技能	筆順（耳）	○			68.7	68.7	0.0	29.7	1.7
七	知識及び技能	漢字の書き取り（毎朝）	○			87.0	87.0	0.0	11.6	1.4
		漢字の書き取り（教える）	○			86.7	86.7	0.0	10.5	2.8
		漢字の読み（筆者）	○			89.2	88.2	1.0	8.1	2.8
		漢字の読み（通る）	○			92.7	90.2	2.4	5.9	1.4
八	書くこと	相手や目的を意識した表現		○		76.0	60.2	15.9	16.9	7.0
		文章全体における段落の構成（条件）		○		81.2	81.2	0.0	10.7	8.1
		考えの形成（内容）	○	○		53.7	52.4	1.3	38.2	8.1
		推敲（表記）	○	○		35.7	26.4	9.3	56.2	8.1

《小学校第4学年 算数》

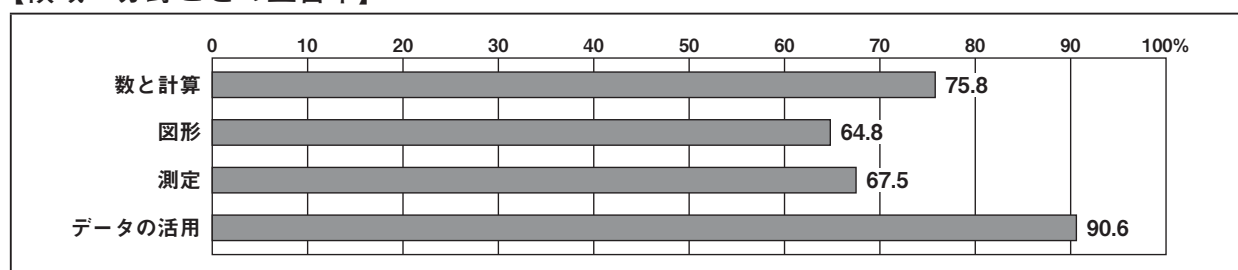
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,327人	73.8%	17.0問／23問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	1(5) 同分母分数の加法計算	97.1
2	1(1) 繰り上がりのない加法計算	95.1
3	7(1) 乗法に関して成り立つ簡単な性質の理解	94.8

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	2(6) 正方形の定義の理解	36.7
2	6(3) 根拠を明らかにした判断理由の説明【理由】	44.8
3	7(2) 帰納的な考え方をを用いて見いだしたさまりの説明【事実】	50.1

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	6(3) 根拠を明らかにした判断理由の説明【理由】	18.0
2	8(3) 複数の条件を基にした、あてはまる時間の判断	8.5
3	7(2) 帰納的な考え方をを用いて見いだしたさまりの説明【事実】	7.1

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】 ◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【数と計算】

- ◎：基本的な四則計算をすること〔1(1)(5)〕
- ▼：根拠を明らかにして、判断した理由を説明すること〔6(3)〕

【図形】

- ：円の中心、半径について理解すること〔6(1)〕
- ▼：正方形の定義を理解すること〔2(6)〕

【測定】

- ：時刻を読むこと〔8(1)〕
- ▼：全体・容器・正味の重さの関係を読み取ること〔2(5)〕

【データの活用】

- ◎：データを分類整理し、表に表すこと〔3(1)〕
- ：グラフからデータの特徴を読み取り、考察すること〔3(2)〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第4学年（算数）

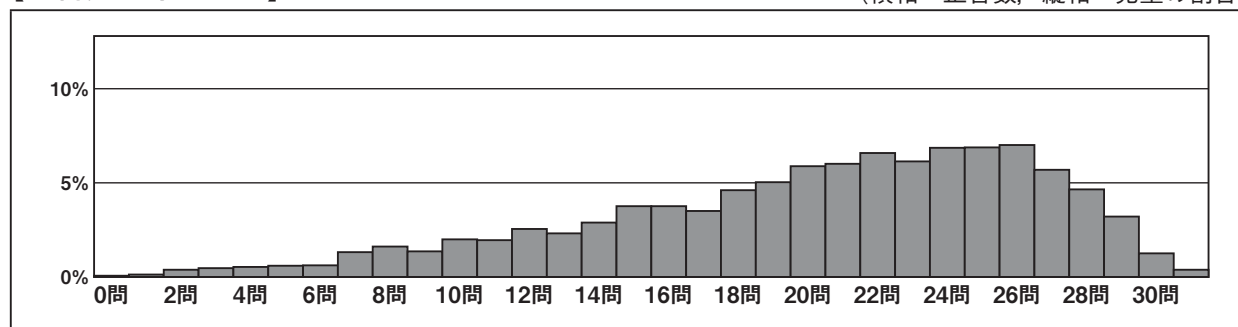
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合（％）				
			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答
1	数と計算	(1) 繰り上がりのない加法計算	○			95.1	95.1	0.0	4.8	0.1
		(2) 波及的繰り下がりのある減法計算	○			82.6	82.6	0.0	17.0	0.4
		(3) 余りのない除法計算	○			84.1	84.1	0.0	14.3	1.6
		(4) 3位数と1位数の乗法計算	○			84.6	84.6	0.0	13.8	1.7
		(5) 同分母分数の加法計算	○			97.1	97.1	0.0	2.4	0.4
2	数と計算	(1) 数直線に表示された数の系列の理解	○			86.7	86.7	0.0	12.9	0.3
		(2) 3位数の大小比較	○			79.8	74.5	5.3	18.8	1.4
		(3) 加法と減法の相互関係の理解	○			73.0	72.8	0.1	26.0	1.1
		(4) 除法の式の意味の理解	○			60.6	60.6	0.0	38.3	1.2
	(5) 測定	全体・容器・正味の重さの関係の読み取り	○			52.0	52.0	0.0	46.7	1.3
	(6) 図形	正方形の定義の理解	○			36.7	35.4	1.3	59.2	4.1
3	データの活用	(1) データの分類整理と表の作成	○			92.0	92.0	0.0	7.5	0.6
		(2) データの特徴の読み取りと考察		○		89.3	89.3	0.0	9.8	0.9
4	数と計算	示された計算の仕方の適用【方法】		○		52.4	52.4	0.0	42.6	5.0
5	図形	球の直径、半径の理解	○			75.4	75.4	0.0	22.8	1.8
6	(1) 図形	コンパスの使い方の理解	○			82.2	82.2	0.0	16.2	1.6
	(2) 測定	適切な計器の選択	○			92.0	92.0	0.1	6.4	1.6
	(3) 数と計算	根拠を明らかにした判断理由の説明【理由】		○		44.8	30.5	14.3	37.3	18.0
7	数と計算	(1) 乗法に関して成り立つ簡単な性質の理解		○		94.8	88.0	6.8	2.3	2.9
		(2) 帰納的な考え方をを用いて見いだしたきまりの説明【事実】		○		50.1	26.1	24.0	42.8	7.1
8	測定	(1) 時刻の読み取り	○			86.2	86.2	0.0	9.9	3.8
		(2) 必要な情報の読み取りと単位換算	○			53.5	53.5	0.0	41.0	5.4
		(3) 複数の条件を基にした、あてはまる時間の判断		○		53.5	53.5	0.0	38.1	8.5

《小学校第6学年 社会》

抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,708人	65.1%	20.2問／31問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	4(2) 水道使用量の変化	92.8
2	4(3) A 節水の工夫 (生活場面)	86.1
3	4(3) B 節水の工夫 (具体的な行動)	85.5

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	6(3) 消費者の願いと店の工夫 (安心)	14.9
2	2(1)③ 日本の位置と領土 (西端の経度)	15.3
3	5(5) 水産業の発展 (持続可能な漁業)	34.5

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	5(5) 水産業の発展 (持続可能な漁業)	26.1
2	6(3) 消費者の願いと店の工夫 (安心)	21.1
3	6(2) 環境を守るための取組 (リサイクル)	13.4

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【地域学習】

- ：飲料水を供給する事業の様子について理解することや、飲料水を供給する事業に関する情報を資料から読み取ること〔4(1)(2)〕
- ：水道水の有効利用について、節水など自分たちができることを選択・判断すること〔4(3)〕
- ▼：販売の工夫について、複数の資料から読み取った情報を基に考察し、適切に表現すること〔6(3)〕

【産業と国土】

- ▽：日本の工業や貿易の様子について、資料から読み取った情報と習得した知識を関連付けて、適切に表現すること〔3〕
- ▼：地図帳を活用して、我が国の位置や領土について調べ、適切に情報を読み取ること〔2(1)〕
- ▼：複数の資料から読み取った情報を基に考察し、適切に表現すること〔2(2), 5(1)〕
- ▼：持続可能な漁業について、生産者の立場から考察し、適切に表現すること〔5(5)〕

[] 内：設問番号

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（社会）

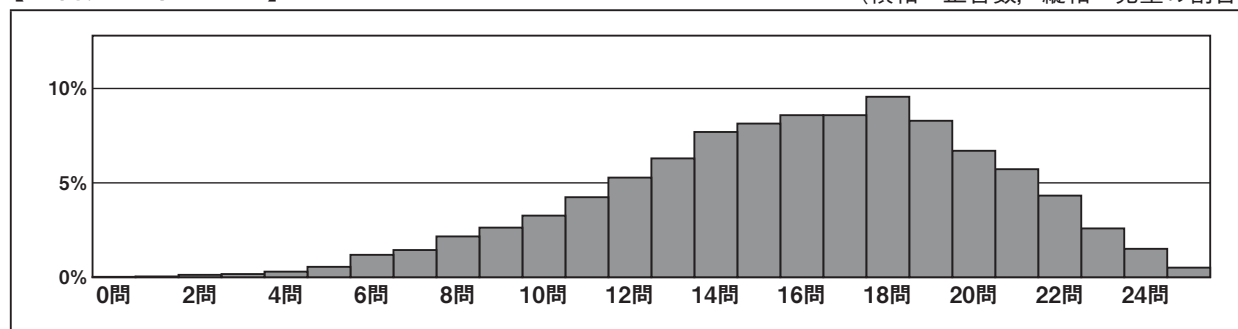
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合（％）				
			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答
1	地域学習	石川県の公共施設（県庁）	○			84.2	84.2	0.0	15.3	0.5
		石川県の交通（北陸自動車道）	○			80.8	80.7	0.1	15.4	3.8
		石川県の自然（日本海）	○			83.8	83.8	0.0	12.4	3.8
		石川県の市（小松市）	○			69.4	69.4	0.0	27.5	3.1
		縮尺の活用	○			67.2	67.2	0.0	28.2	4.6
		石川県の農業の特色	○	○		50.1	44.5	5.6	46.0	3.9
2	産業と国土	日本の位置と領土（方位）	○			59.7	58.1	1.6	35.3	4.9
		日本の位置と領土（大韓民国）	○			61.5	61.5	0.1	36.7	1.8
		日本の位置と領土（西端の経度）	○			15.3	15.3	0.0	77.4	7.3
		日本の気候の特色（降水量）	○	○		41.6	40.7	0.9	49.0	9.4
		日本の気候の特色（季節風）	○	○		38.1	31.6	6.5	50.9	11.1
3	産業と国土	日本の工業（機械工業）	○			83.6	83.6	0.0	12.6	3.8
		日本の工業（せんい工業）	○			68.4	68.4	0.0	24.5	7.1
		日本の工業地帯と分布	○			61.4	61.3	0.1	36.9	1.7
		日本の工業の特色（太平洋ベルト）	○			72.5	72.5	0.0	18.9	8.6
		日本の工業の特色（海上輸送）	○	○		60.6	8.3	52.3	31.6	7.8
4	地域学習	浄水場のはたらき	○			80.5	80.5	0.0	18.7	0.8
		水道使用量の変化	○			92.8	92.8	0.0	5.9	1.3
		節水の工夫（生活場面）		○		86.1	80.4	5.7	7.2	6.7
		節水の工夫（具体的な行動）		○		85.5	76.4	9.0	7.5	7.0
5	産業と国土	日本周辺の海の様子	○			43.1	43.1	0.0	54.7	2.2
		出荷までの作業	○			81.7	81.7	0.0	15.6	2.7
		魚の価格と費用の関係（高い）	○	○		75.4	74.9	0.4	17.5	7.1
		魚の価格と費用の関係（経費）	○	○		50.8	26.5	24.3	37.9	11.3
		学習問題の設定（生産量の増加）	○	○		75.7	70.4	5.3	12.7	11.6
		学習問題の設定（生産量の減少）	○	○		66.8	30.6	36.2	19.8	13.3
		水産業の発展（持続可能な漁業）		○		34.5	18.4	16.1	39.4	26.1
6	地域学習	消費者の願いと店の工夫（大きさ）	○			79.6	79.6	0.0	12.8	7.6
		消費者の願いと店の工夫（管理）	○			76.8	76.8	0.0	15.2	8.0
		環境を守るための取組（リサイクル）	○			75.6	75.6	0.0	11.0	13.4
		消費者の願いと店の工夫（安心）	○	○		14.9	10.5	4.4	64.0	21.1

《小学校第6学年 理科》

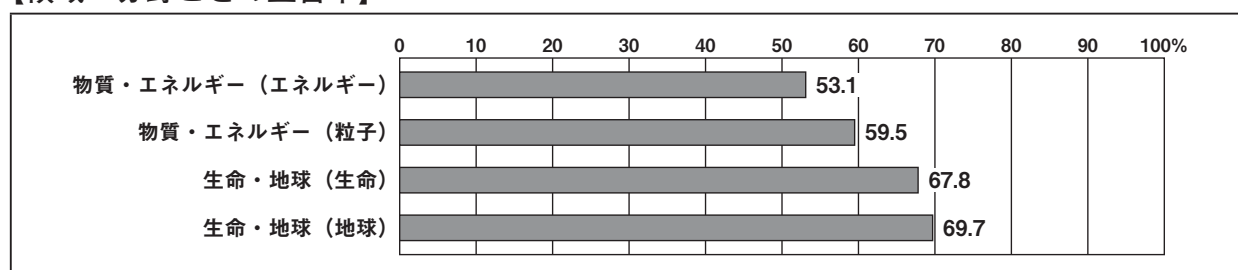
抽出児童数	平均正答率	平均正答数
4,713人	63.6%	15.9問／25問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：児童の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	1(1) 台ばかりの測り方	94.6
2	8(4)① 星の位置の変化	91.8
3	8(4)② 星の並び方の変化	87.9

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	3(2) 磁石の極の性質【分析】	20.1
2	1(3) 異なる物質で重さを一定にしたときの体積の大きさ【適用】	34.6
3	5(1) 湯気の状態	36.8

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	7(2) 乾電池, 電流, モーターの回る速さの関係【分析】	4.5
2	5(3) 日常生活との関連【適用】	3.2
3	6(1)① 太陽の動きと影の位置	3.1

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【物質・エネルギー】

- ：物は、形が変わっても重さは変わらないことを理解すること〔1(2)〕
- ▽：乾電池を2つ使った直列つなぎを実体配線図で表すこと〔7(1)〕
- ▼：水の変化について、予想が確かめられた場合に得られる結果を見通して実験を構想し、表現すること〔5(2)〕
- ▼：磁石が相互に引き合ったり、退け合ったりする様子を比較し、磁石の極の性質について表現すること〔3(2)〕

【生命・地球】

- ：星の集まりは、1日のうちでも時刻によって、見える位置は変わるが、並び方は変わらないことを理解すること〔8(4)〕
- ◇：人が体を動かす仕組みを、骨や筋肉の働きと関係付けて表現すること〔2(2)〕
- ▽：太陽や影の位置の変化と方位の関係を理解すること〔6(1)②③④〕
- ▼：星座早見を正しく使うこと〔8(3)〕

【各設問の正答率等】

小学校第6学年（理科）

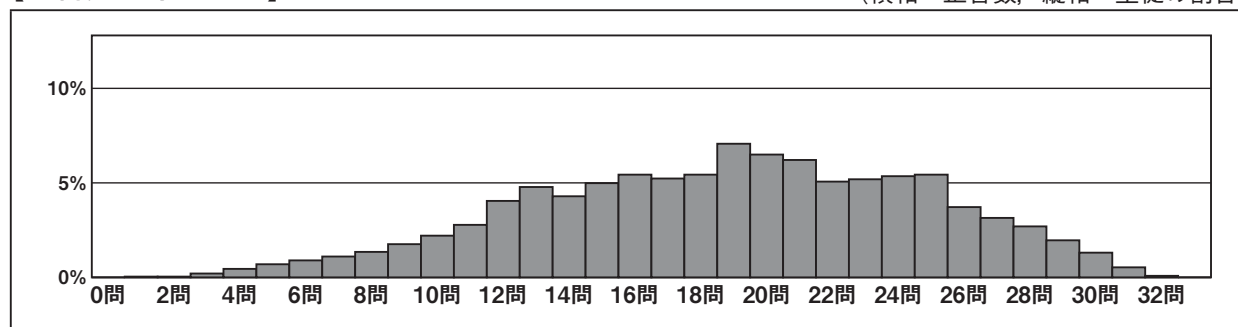
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点			割合（％）				
			知識・ 技能	思考・ 判断・ 表現	主体的に 学習に 取り組む 態度	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答
1	物質・エネルギー (粒子)	台ばかりの測り方	○			94.6	94.6	0.0	5.3	0.0
		形によって重さが変わらないこと の理解	○			85.4	85.4	0.0	14.6	0.0
		異なる物質で重さを一定にしたと きの体積の大きさ【適用】		○		34.6	34.6	0.0	65.2	0.1
2	生命・地球 (生命)	体の曲がる場所	○			86.3	86.3	0.0	11.5	2.2
		体の動く仕組み【適用】		○		72.9	72.9	0.0	27.0	0.1
3	物質・エネルギー (エネルギー)	磁石の性質	○			86.0	85.4	0.6	13.9	0.1
		磁石の極の性質【分析】		○		20.1	19.7	0.4	77.4	2.5
4	生命・地球 (生命)	顕微鏡の操作	○			60.9	60.9	0.0	39.0	0.1
		ヘチマの花粉の特徴	○			59.2	59.2	0.0	40.6	0.2
		条件制御をふまえた実験方法の構 想【構想】		○		59.7	16.1	43.6	38.3	2.1
5	物質・エネルギー (粒子)	湯気の状態	○			36.8	36.8	0.0	62.9	0.3
		結果を見通した実験構想【構想】		○		47.5	47.5	0.0	52.5	0.0
		日常生活との関連【適用】		○		58.3	53.9	4.4	38.5	3.2
6	生命・地球 (地球)	(1)①	○			60.5	60.5	0.0	36.3	3.1
		(1)②③④	○			63.3	63.3	0.0	36.3	0.4
		(2)		○		48.2	48.2	0.0	51.3	0.5
		(3)	○			85.8	85.8	0.0	14.0	0.2
7	物質・エネルギー (エネルギー)	乾電池の直列つなぎ	○			67.6	67.6	0.0	31.7	0.7
		乾電池、電流、モーターの回る速 さの関係【分析】		○		38.0	33.7	4.3	57.5	4.5
		乾電池の並列つなぎの特性【適用】		○		54.0	54.0	0.0	45.6	0.4
8	生命・地球 (地球)	(1)	○			70.7	70.7	0.0	28.7	0.6
		(2)	○			81.0	60.4	20.6	18.4	0.5
		(3)	○			38.2	38.2	0.0	60.3	1.5
		(4)①	○			91.8	73.2	18.6	6.9	1.3
		(4)②	○			87.9	15.8	72.0	10.8	1.3

《中学校第3学年 社会》

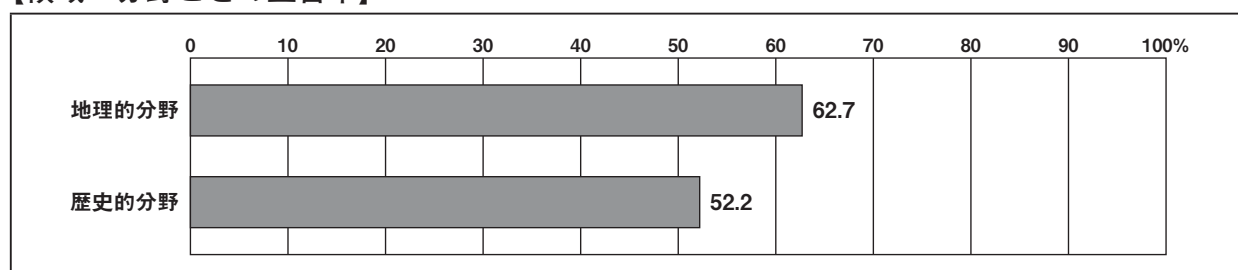
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,447人	57.0%	18.8問／33問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1 (1) A	六大陸 (ユーラシア大陸)	96.8
4(5)①	日本の地形 (琵琶湖)	95.0
4(1)	日本の領土 (択捉島)	93.1

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
4(5)②	地理的事象 (エコツアーリズム)	4.3
3(2)	歴史上の事象 (パテレン追放令)	12.8
1(5)② Y	オーストラリアの貿易の変化の要因	14.8

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
4(5)②	地理的事象 (エコツアーリズム)	29.4
2(1)②	歴史上の事象 (朝貢)	26.5
5(4)②	歴史上の事象 (尊王攘夷運動)	17.9

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【地理的分野】

- ：資料から読み取ったことを基に課題 (学習課題) を設定すること [4(3)]
- ◇：日本の領土や日本周辺の海流など、海洋に囲まれた日本の特色について理解すること [4(1)(2)]
- ▼：複数の情報を的確に読み取り、それらを関連付けて考察したことを適切に表現すること [1(5)②Y, 4(5)③]
- ▼：地形図を正確に読み取ること [4(4)]

【歴史的分野】

- ◇：基礎・基本となる歴史的人物や歴史的事象について理解すること [2(4)①②, 5(2)]
- ▼：東アジアの文明の影響を受けながら、日本で国家が形成されていったことについて理解すること [2(1)①②]
- ▼：資料や既習の知識を基に、多面的・多角的に考察したことを適切に表現すること [3(2), 3(4)②, 5(3)②]

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（社会）

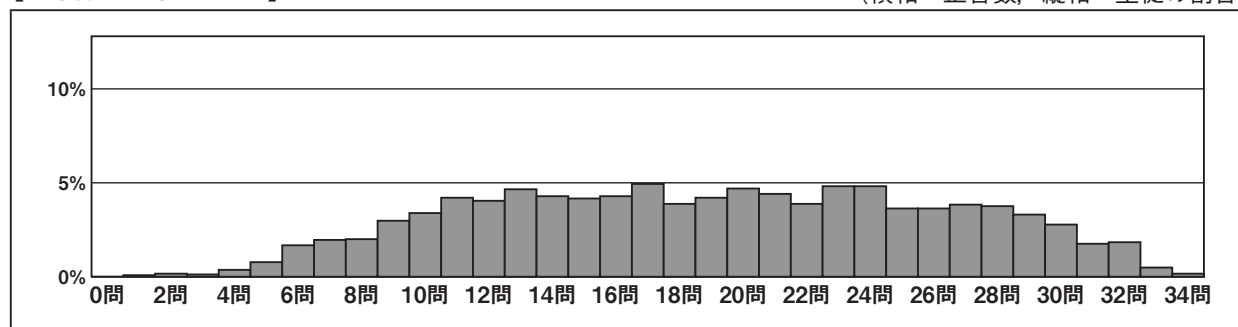
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（%）					
			社会的 事象への 関心・意欲・ 態度	社会的 事象への 判断・表現	資料 活用 の技能	社会的 事象に ついて の知識・ 理解	正 答 率	正 答	準 正 答	誤 答	無 解 答	
1	地理的分野	(1) A	六大陸（ユーラシア大陸）									○
		(1) B	三大洋（大西洋）				○	84.2	84.2	0.0	15.4	0.4
		(2)	赤道の位置	○		○		77.2	77.2	0.0	22.8	0.0
		(3)	世界の気候の特色（砂漠気候）		○		○	66.1	66.1	0.0	33.8	0.1
		(4)	時差と経度				○	62.4	62.4	0.0	37.3	0.3
		(5)①	オーストラリアの先住民族				○	45.6	45.6	0.0	45.3	9.2
		(5)② X	オーストラリアの輸出品の変化		○	○		89.0	40.0	49.0	7.8	3.3
		(5)② Y	オーストラリアの貿易の変化の要因		○	○		14.8	7.2	7.6	71.5	13.7
2	歴史的分野	(1)①	歴史上の事象（漢）				○	17.0	17.0	0.0	79.7	3.2
		(1)②	歴史上の事象（朝貢）				○	21.3	21.0	0.3	52.2	26.5
		(2)	年代の表し方（世紀）				○	65.1	65.1	0.0	33.2	1.7
		(3)	歴史上の事象（大化の改新）		○		○	74.4	74.4	0.0	25.2	0.4
		(4)①	歴史上の人物（聖武天皇）				○	84.4	84.4	0.0	15.4	0.2
		(4)②	歴史上の事象（天平文化）	○			○	72.7	72.7	0.0	27.0	0.3
3	歴史的分野	(1)①	歴史上の人物（バスコ・ダ・ガマ）				○	55.0	55.0	0.0	44.7	0.2
		(1)②	歴史上の事象（イスラム教）				○	32.9	32.9	0.0	66.4	0.7
		(2)	歴史上の事象（バテレン追放令）	○	○			12.8	1.0	11.8	73.9	13.3
		(3)	歴史上の事象（鎖国政策）		○	○		37.4	37.4	0.0	61.9	0.7
		(4)①	歴史上の事象（南蛮貿易）				○	73.1	73.1	0.0	18.3	8.5
		(4)②	鉄砲伝来の影響		○	○		44.6	10.3	34.3	47.7	7.7
4	地理的分野	(1)	日本の領土（択捉島）			○	○	93.1	93.1	0.0	6.6	0.3
		(2)	日本の周辺の海流（千島海流）				○	65.7	65.7	0.0	31.1	3.2
		(3)	北海道の気候と産業の関連(学習課題)		○	○		81.8	55.4	26.4	12.7	5.5
		(4)	地形図の読み取り	○		○		24.0	24.0	0.0	72.0	3.9
		(5)①	日本の地形（琵琶湖）				○	95.0	95.0	0.0	4.8	0.2
		(5)②	地理的事象（エコツアーリズム）	○			○	4.3	4.3	0.0	66.2	29.4
		(5)③	地理的事象（景観の保全）	○	○			40.9	34.2	6.7	53.5	5.6
5	歴史的分野	(1)	歴史上の事象（江戸時代の農具）			○	○	62.8	62.8	0.0	36.9	0.3
		(2)	歴史上の人物（松尾芭蕉）				○	78.1	78.1	0.0	21.3	0.7
		(3)①	江戸時代の産業（生産の仕組み）				○	64.1	64.1	0.0	34.8	1.1
		(3)②	江戸時代の産業（工場制手工業）		○		○	44.0	25.0	19.0	40.8	15.2
		(4)①	歴史上の事象（解体新書）				○	67.3	67.3	0.0	21.1	11.6
		(4)②	歴史上の事象（尊王攘夷運動）		○		○	32.1	32.1	0.0	50.1	17.9

《中学校第3学年 理科》

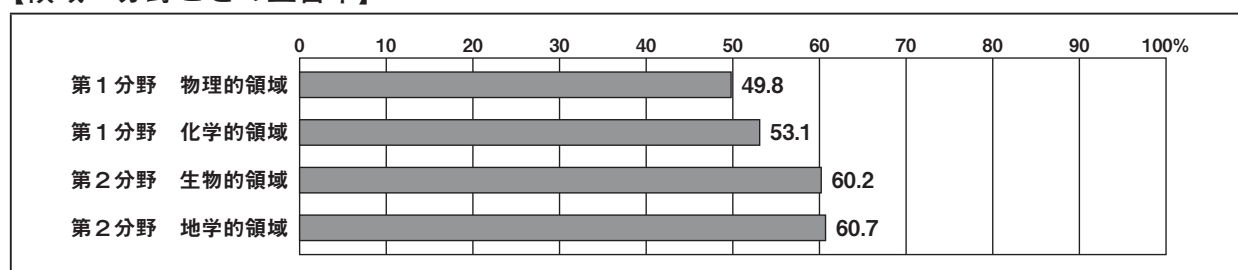
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,449人	55.7%	18.9問／34問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数、縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	5(2) 夏に発達する気団	88.3
2	1(1) 光の反射	85.6
3	5(1)値 気圧	76.3

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	3(2) 地層の傾き【分析・解釈】	13.2
2	7(2)BC コイルに流れる電流がつくる磁界の向き	17.1
3	1(4) 離れた場所での鏡に映る像【適用】	23.6

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	6(2) 蒸留の仕組み【分析・解釈】	16.2
2	6(3) 蒸留実験操作の意図【構想】	13.6
3	8(4) 野菜の分類における特徴【適用】	12.0

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

【第1分野】

- ◇：光が鏡で反射し、目に届くまでの道筋を作図すること〔1(2)〕
- ▽：銅の酸化における化学反応式を理解すること〔4(1)化学反応式〕
- ▽：蒸留実験の原理と海水から水を取り出す装置を対応させること〔6(4)〕
- ▼：輪にした導線に流れる電流がつくる磁界の向き、コイルに流れる電流がつくる磁界の向きを理解すること〔7(2)〕

【第2分野】

- ：夏に発達する気団を理解すること〔5(2)〕
- ◇：呼吸運動の仕組みを模型と関係付けて理解すること〔2(1)〕
- ▽：花のつくりを理解すること〔8(1)〕
- ▼：柱状図と地図を関係付け、地層の傾きを考えること〔3(2)〕

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（理科）

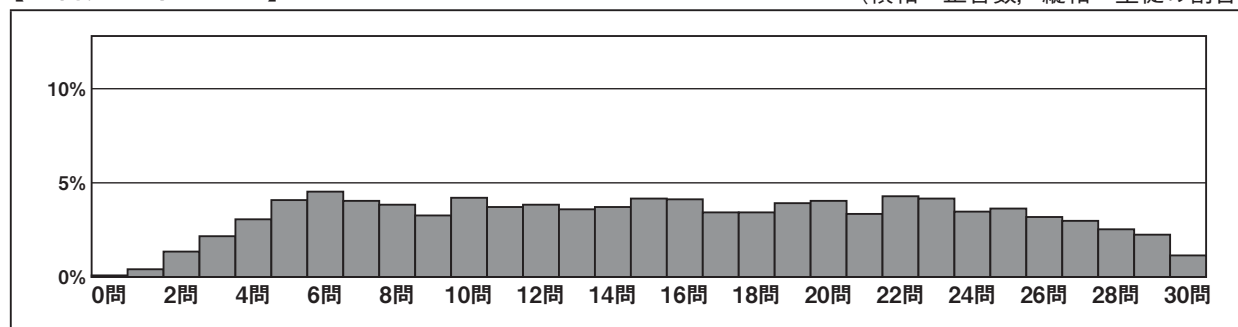
設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）					
			関心・意欲・態度	自然現象への科学的な思考・表現	観察・実験の技能	自然現象についての知識・理解	正答率	正答	準正答	誤答	無解答	
1	第1分野 物理的領域	(1)	光の反射			○	85.6	85.6	0.0	14.0	0.4	
		(2)	光の反射作図			○	74.6	41.6	33.0	24.7	0.8	
		(3)	鏡に映る像【適用】	○	○		53.9	53.9	0.0	46.0	0.0	
		(4)	離れた場所での鏡に映る像【適用】		○	○	23.6	23.6	0.0	76.2	0.2	
2	第2分野 生物的領域	(1)	肺のモデル【構想】			○	72.6	72.6	0.0	27.2	0.1	
		(2)	肺で空気が入り出す仕組み		○	○	57.2	57.2	0.0	42.0	0.7	
		(3)	ヘモグロビンの性質				○	50.3	50.0	0.3	40.8	8.9
3	第2分野 地学的領域	(1)	地層の堆積した順【分析・解釈】		○		45.2	45.2	0.0	54.4	0.4	
		(2)	地層の傾き【分析・解釈】		○		13.2	13.2	0.0	86.2	0.6	
		(3)	示相化石				○	59.9	59.9	0.0	31.8	8.2
4	第1分野 化学的領域	(1)モデル	銅の酸化におけるモデル図		○	○	50.2	50.2	0.0	46.4	3.4	
		(1)化学反応式	銅の酸化における化学反応式				○	65.9	65.9	0.0	30.1	4.0
		(2)	ガスバーナーの点火時の操作			○	64.2	64.2	0.0	35.6	0.2	
		(3) A	銅の酸化における質量変化【分析・解釈】		○		75.2	75.2	0.0	18.6	6.2	
		(3) BC	銅の酸化における反応・未反応の質量【分析・解釈】		○		31.4	31.4	0.0	59.8	8.7	
5	第2分野 地学的領域	(1)天気	天気記号の読み取り			○	72.4	72.4	0.0	25.8	1.8	
		(1)値	気圧			○	76.3	76.3	0.0	17.7	6.0	
		(2)	夏に発達する気団			○	88.3	88.3	0.0	10.9	0.8	
		(3)	陸の温まり方・冷え方、実験結果との対応【適用】		○	○	59.2	59.1	0.1	31.2	9.5	
		(4)	温められた空気と冷やされた空気の性質		○		○	73.0	73.0	0.0	24.7	2.3
		(5)	海陸風の向き【適用】		○		○	58.6	58.6	0.0	41.0	0.4
6	第1分野 化学的領域	(1)	混合物の温度変化			○	24.2	24.2	0.0	75.3	0.5	
		(2)	蒸留の仕組み【分析・解釈】		○		54.9	14.5	40.4	28.9	16.2	
		(3)	蒸留実験操作の意図【構想】		○	○	46.7	46.7	0.0	39.7	13.6	
		(4)	蒸留実験の原理と実験方法との対応【適用】	○		○	65.4	65.4	0.0	34.0	0.7	
7	第1分野 物理的領域	(1)	方位磁針の役割			○	49.5	49.5	0.0	46.7	3.8	
		(2) A	導線に流れる電流がつくる磁界の向き			○	35.2	35.2	0.0	64.2	0.6	
		(2) BC	コイルに流れる電流がつくる磁界の向き			○	17.1	17.1	0.0	82.5	0.4	
		(3)	モーターの仕組み	○	○		44.1	44.1	0.0	52.9	3.0	
		(4)	モーターの回転速度が決まる要素			○	64.3	63.5	0.9	30.3	5.3	
8	第2分野 生物的領域	(1)	花のつくりによる分類			○	67.1	67.1	0.0	28.3	4.6	
		(2)	シダ植物の特徴			○	50.5	50.5	0.0	48.7	0.8	
		(3)	顕微鏡の使い方			○	66.9	66.9	0.0	32.4	0.7	
		(4)	野菜の分類における特徴【適用】	○	○		56.4	46.8	9.7	31.6	12.0	

《中学校第3学年 英語》

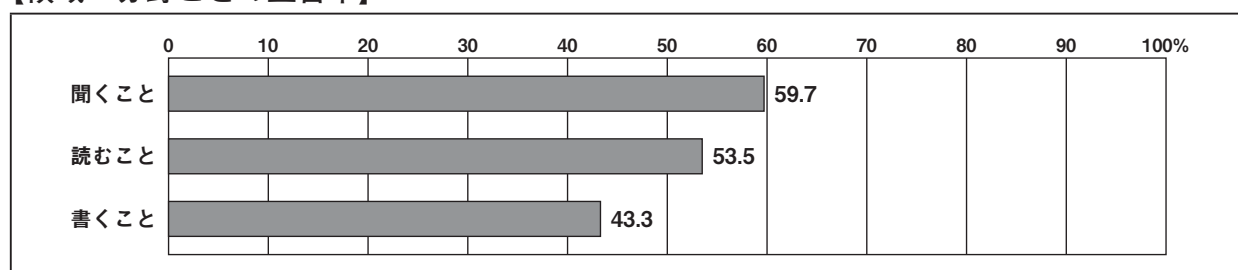
抽出生徒数	平均正答率	平均正答数
2,449人	51.9%	15.6問／30問

【正答数分布グラフ】

(横軸：正答数, 縦軸：生徒の割合)



【領域・分野ごとの正答率】



【正答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	5(5) 言語の使用場面(買い物)に応じた英文の理解	73.5
2	5(1) 人称代名詞(所有格)を用いた英文の理解	72.6
3	3 No.3 話しかけ(Let's go together next Sunday.)に応じること	71.9

【正答率の低い設問】

設問番号	問題の内容	正答率
1	10(3) 書き手の伝えようとする内容の適切な読み取り	20.9
2	11② 状況に合う英文(動詞)への書きかえ	23.5
3	11③ 状況に合う英文(接続詞)への書きかえ	23.6

【無解答率の高い設問】

設問番号	問題の内容	無解答率
1	10(3) 書き手の伝えようとする内容の適切な読み取り	37.5
2	11③ 状況に合う英文(接続詞)への書きかえ	26.2
3	4 No.2 情報を整理しながら必要な情報(場所)の聞き取り	22.7

【領域・分野ごとの到達状況の傾向】

◎：良好である ○：概ね良好である ◇：基準に到達している
▽：十分とはいえない ▼：不十分である

[聞くこと]

- ◇：話しかけの内容に適切に応じること〔3〕
- ▼：まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解すること〔4〕

[読むこと]

- ▽：言語の使用場面や働き、語句の役割に気を付けながら、短い英文を正しく理解すること〔5〕
- ▼：まとまりのある文章を読んで、話の概要や要点、書き手の意見などを適切に捉えること〔9, 10〕

[書くこと]

- ▼：語順や語形に気を付けながら、場面や状況に応じて正しく書くこと〔6, 11〕
- ▼：自分の考えや気持ちが伝わるよう、まとまりのある文章を書くこと〔12〕

[]内：設問番号

【各設問の正答率等】

中学校第3学年（英語）

設問 番号	領域 分野	問題の内容	評価の観点				割合（％）				
			関心・意欲・態度への コミュニケーションへの	外国語表現の能力	外国語理解の能力	言語や文化についての知識・理解	正答率	正答	準正答	誤答	無解答
1	No.1	聞くこと	短い英文の内容（ものの値段）の聞き取り		○						
	No.2		短い英文の内容（朝食のメニュー）の聞き取り		○		70.3	70.3	0.0	29.6	0.1
2		聞くこと	英文の内容（宿題を提出する場所）の聞き取り		○		58.0	58.0	0.0	41.8	0.2
3	No.1	聞くこと	話しかけ（Can I open the window?）に応じること		○		71.1	71.1	0.0	28.3	0.6
	No.2		話しかけ（What's wrong?）に応じること		○		71.8	71.8	0.0	27.2	0.9
	No.3		話しかけ（Let's go together next Sunday.）に応じること		○		71.9	71.9	0.0	27.5	0.7
4	No.1	聞くこと	情報を整理しながら必要な情報（交通手段）の聞き取り		○		49.4	45.5	3.9	31.5	19.1
	No.2		情報を整理しながら必要な情報（場所）の聞き取り		○		48.3	39.6	8.7	29.0	22.7
	No.3		情報を整理しながら必要な情報（会う時間）の聞き取り		○		24.9	24.8	0.0	54.6	20.5
5	(1)	読むこと	人称代名詞（所有格）を用いた英文の理解		○	○	72.6	72.6	0.0	27.3	0.1
	(2)		三人称単数現在形を用いた英文の理解		○	○	55.1	55.1	0.0	44.7	0.2
	(3)		be 動詞の過去形を用いた英文の理解		○	○	64.4	64.4	0.0	35.4	0.2
	(4)		言語の働き（考えや意図を伝える）に応じた英文の理解		○	○	71.3	71.3	0.0	28.3	0.4
	(5)		言語の使用場面（買い物）に応じた英文の理解		○	○	73.5	73.5	0.0	26.1	0.4
	(6)		言語の使用場面（生徒の身近な暮らし）に応じた英文の理解		○	○	58.2	58.2	0.0	40.8	1.0
6	(1)	書くこと	主語＋動詞＋目的語＋目的語を用いた英文の語順		○	○	49.2	47.4	1.7	49.0	1.9
	(2)		疑問詞を用いた英文の語順		○	○	45.4	44.0	1.4	53.2	1.4
	(3)		主格の動名詞を用いた英文の語順		○	○	57.2	53.0	4.1	40.8	2.0
7	(1)	書くこと	言語の使用場面・働き（苦情を言う）に応じた筆記	○	○		54.3	20.4	33.9	32.7	13.0
	(2)		言語の使用場面・働き（相手の行動を促す）に応じた筆記	○	○		66.0	50.4	15.6	23.8	10.2
	(3)		言語の使用場面（道案内）に応じた筆記	○	○		57.0	32.7	24.3	27.2	15.8
8		読むこと	簡単な文の正確な読み取り		○		69.9	69.9	0.0	29.6	0.5
9		読むこと	話のあらすじの読み取り		○		39.6	39.6	0.0	59.0	1.4
10	(1)	読むこと	書き手が最も伝えたい内容の読み取り		○		33.5	33.5	0.0	65.3	1.2
	(2)		まとまりのある文章の概要の読み取り		○		29.1	29.1	0.0	68.2	2.7
	(3)		書き手の伝えようとする内容の適切な読み取り		○		20.9	12.1	8.9	41.6	37.5
11	①	書くこと	状況に合う英文（to＋動詞）への書きかえ		○	○	25.6	8.0	17.6	62.2	12.2
	②		状況に合う英文（動詞）への書きかえ		○	○	23.5	20.5	3.1	63.3	13.2
	③		状況に合う英文（接続詞）への書きかえ		○	○	23.6	16.5	7.1	50.3	26.2
12		書くこと	まとまりのある文章を書くこと	○	○		30.9	4.5	26.3	52.6	16.6

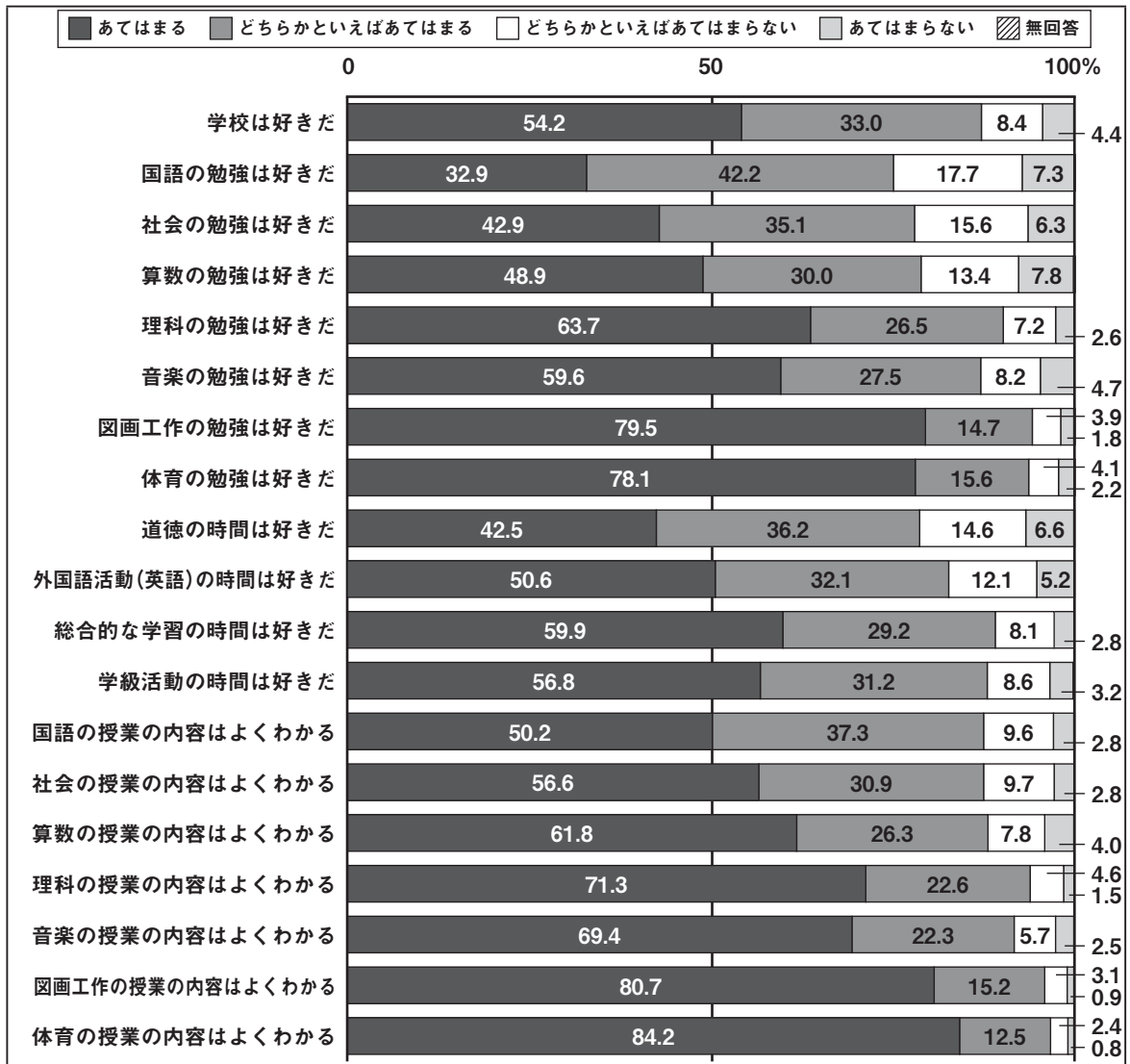
2 質問紙調査結果

※質問紙調査結果については、無回答の割合（数値）は表記していない。

《小学校第4学年》 学校数（児童数）：201校（4,327人）

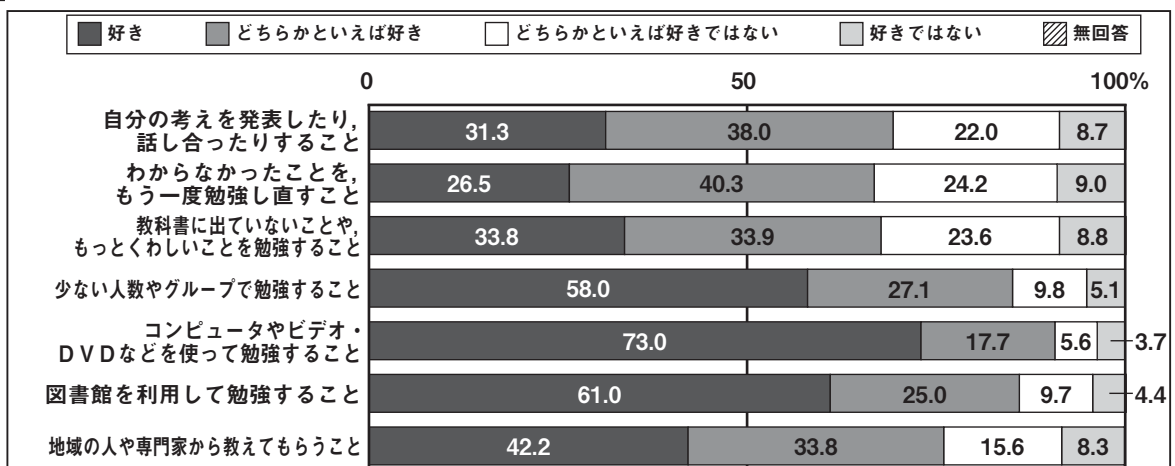
1

あなたは、次のことについてどのように思っていますか。



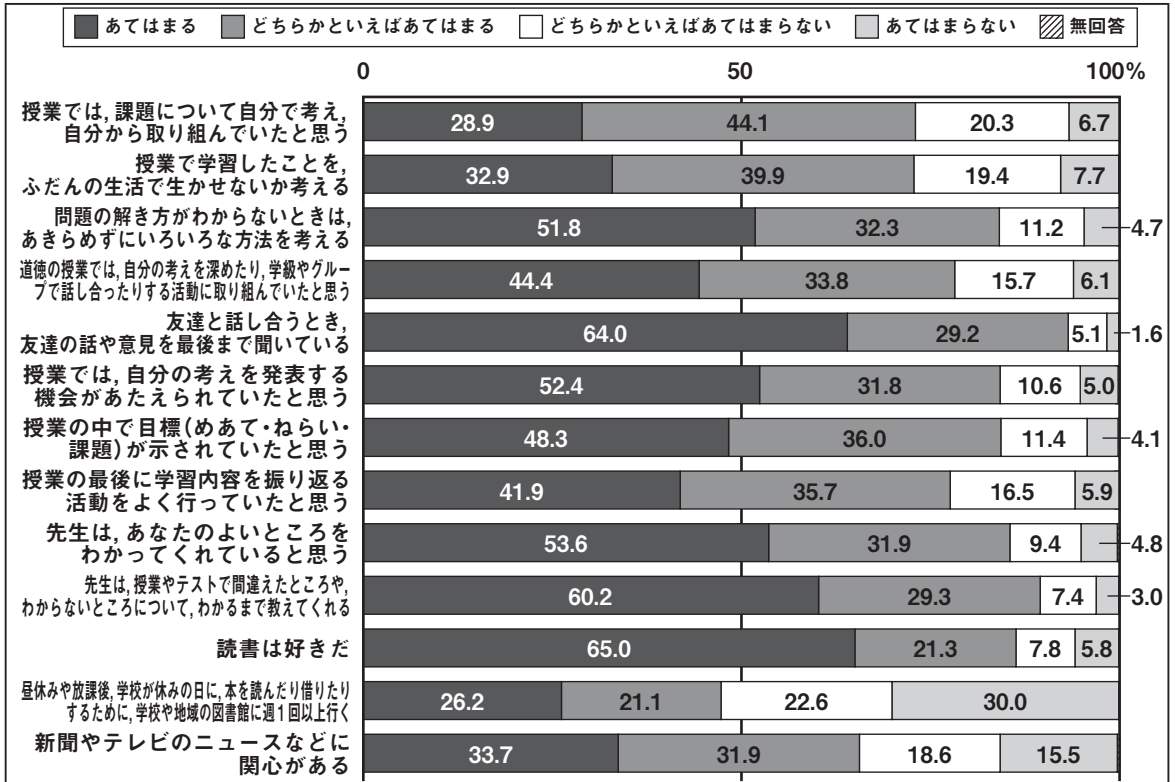
2

あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



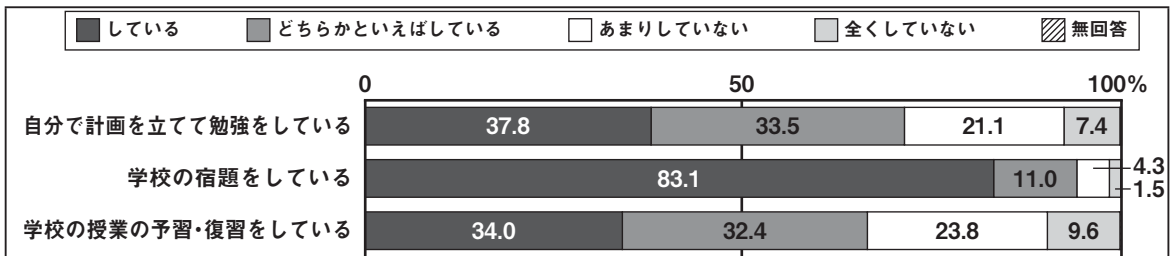
3

次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。



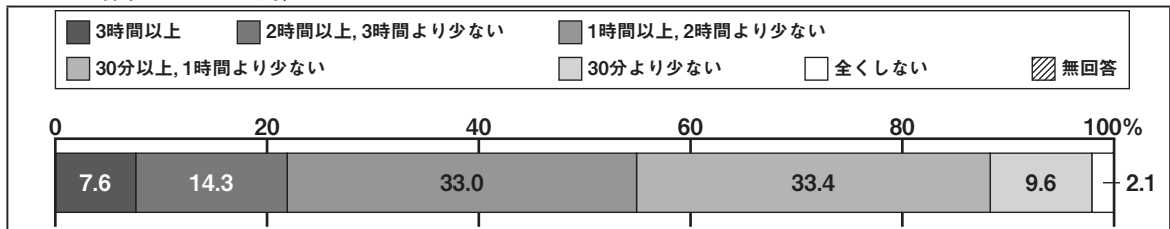
4

あなたは、家で次のようなことをしていますか。

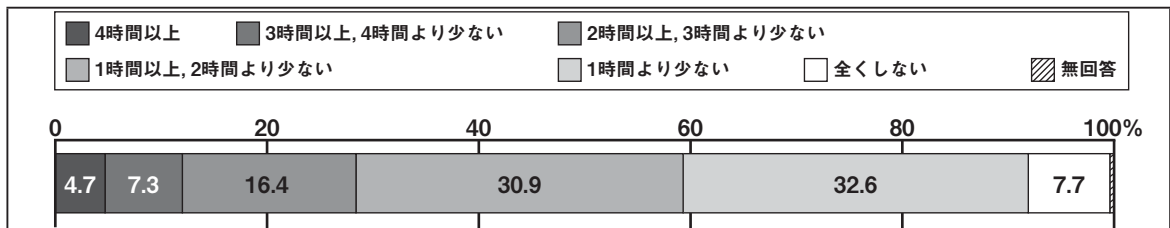


5

(1) あなたは、学校の授業時間以外に、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。）

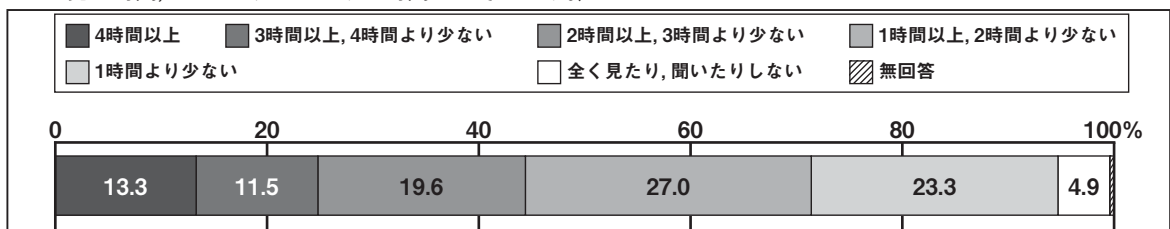


(2) あなたは、土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか。（学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間もふくみます。）

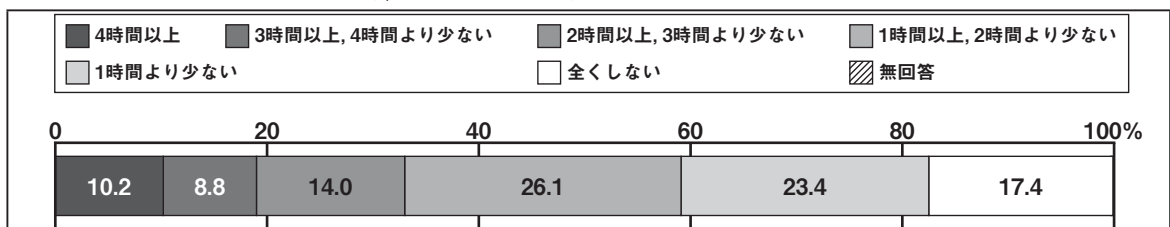


6

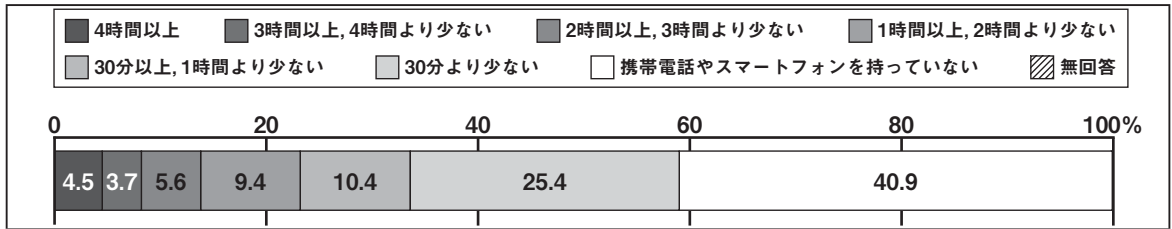
(1) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか。（勉強のためのテレビやビデオ・DVDを見る時間、テレビゲームをする時間はのぞきます。）



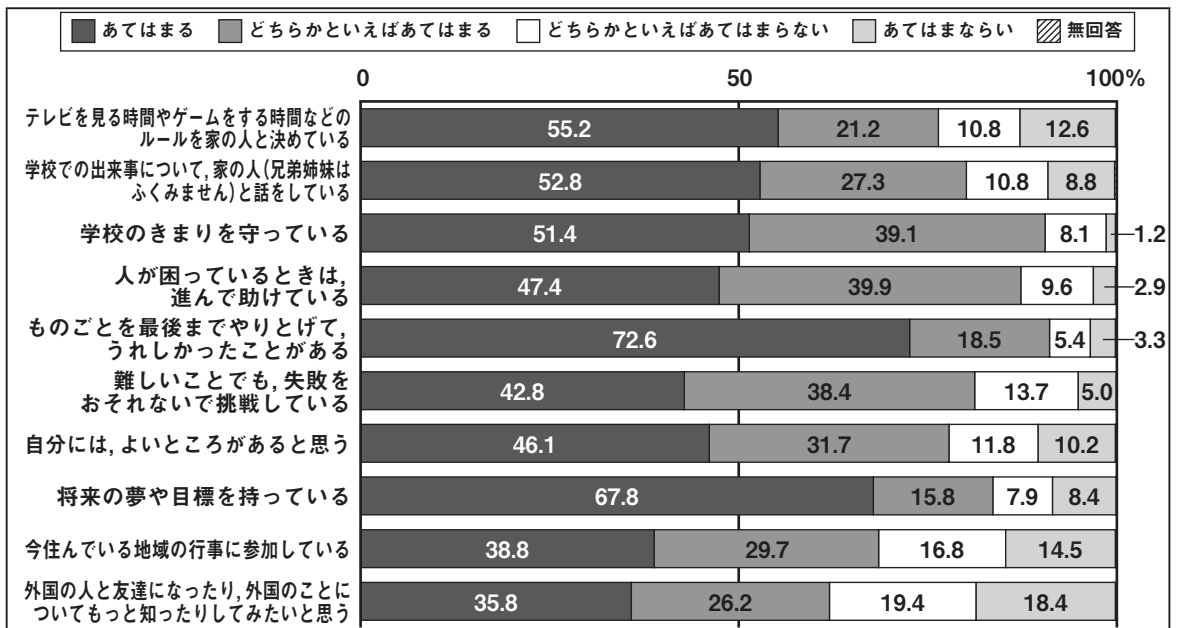
(2) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンなどを使ったゲームもふくみます。）をしますか。



(3) あなたは、ふだん（月曜日から金曜日），1日あたりどれくらいの時間，携帯電話やスマートフォンなどで通話やメール，インターネットをしますか。（携帯電話やスマートフォンなどを使ってゲームをする時間はのぞきます。）

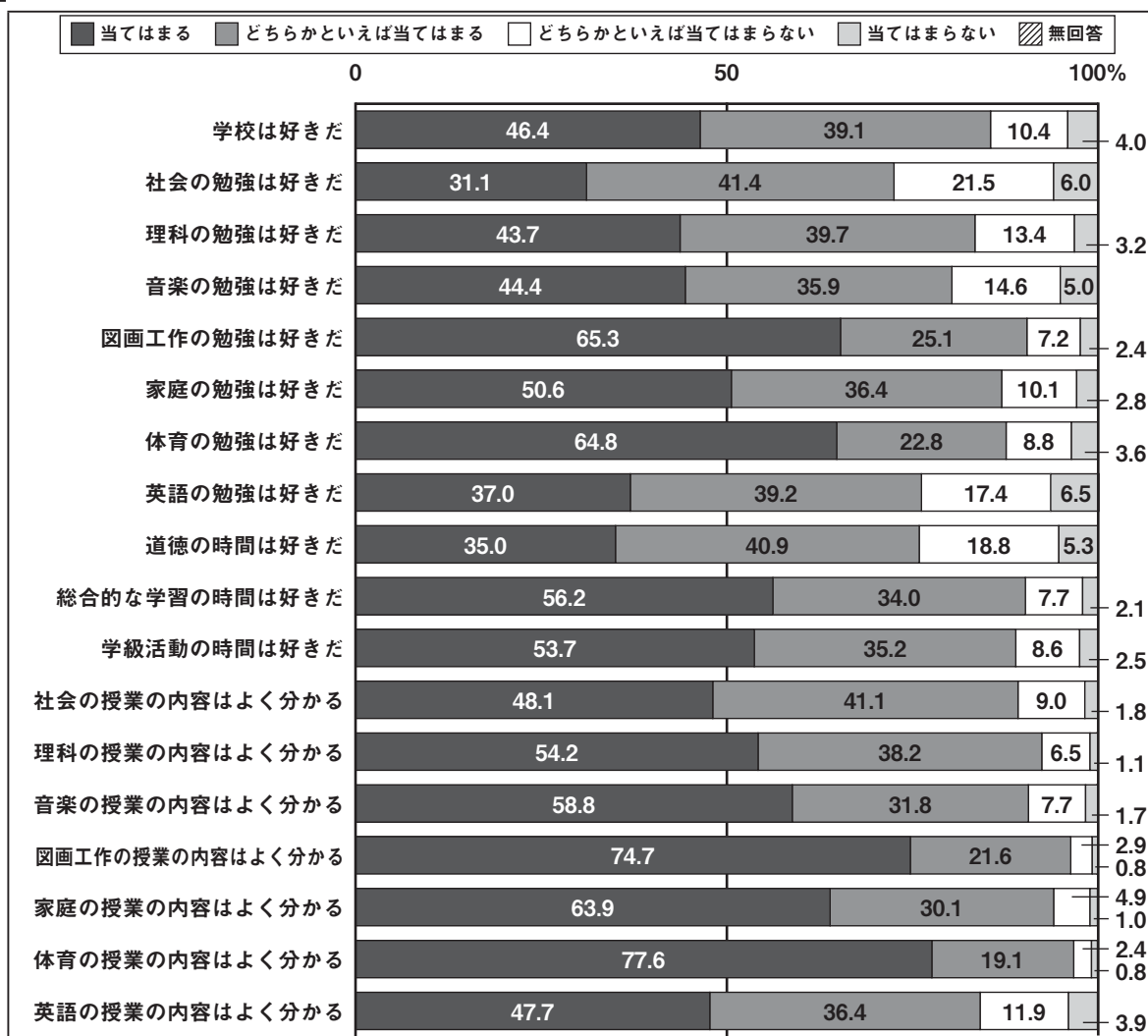


7 次のことは、あなたにどれくらいあてはまりますか。

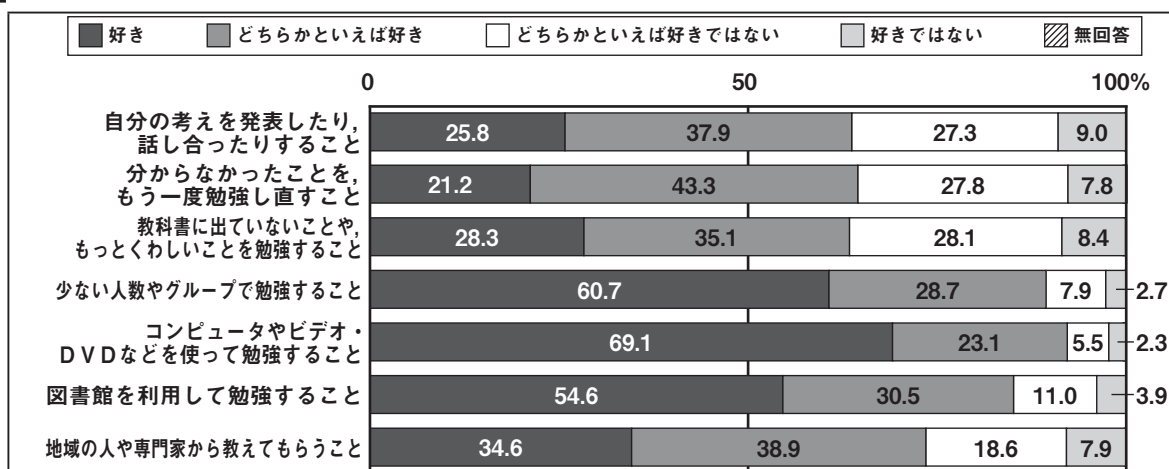


《小学校第6学年》 学校数（児童数）：201校（4,715人）

1 あなたは、次のことについてどのように思っていますか。

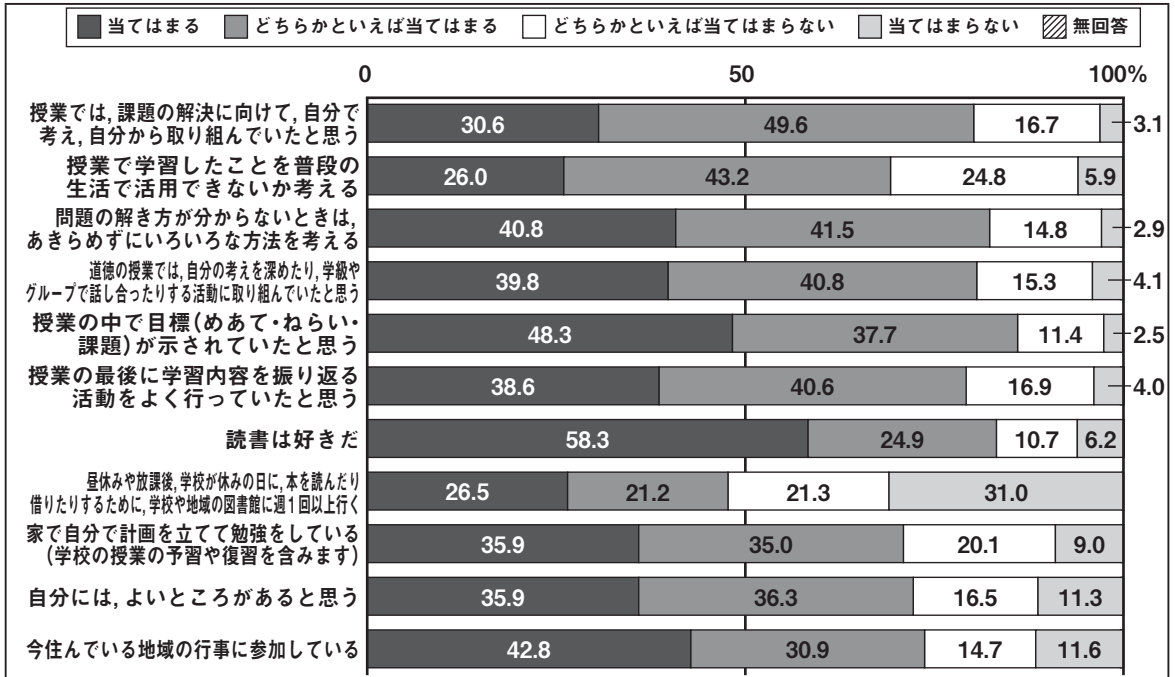


2 あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



3

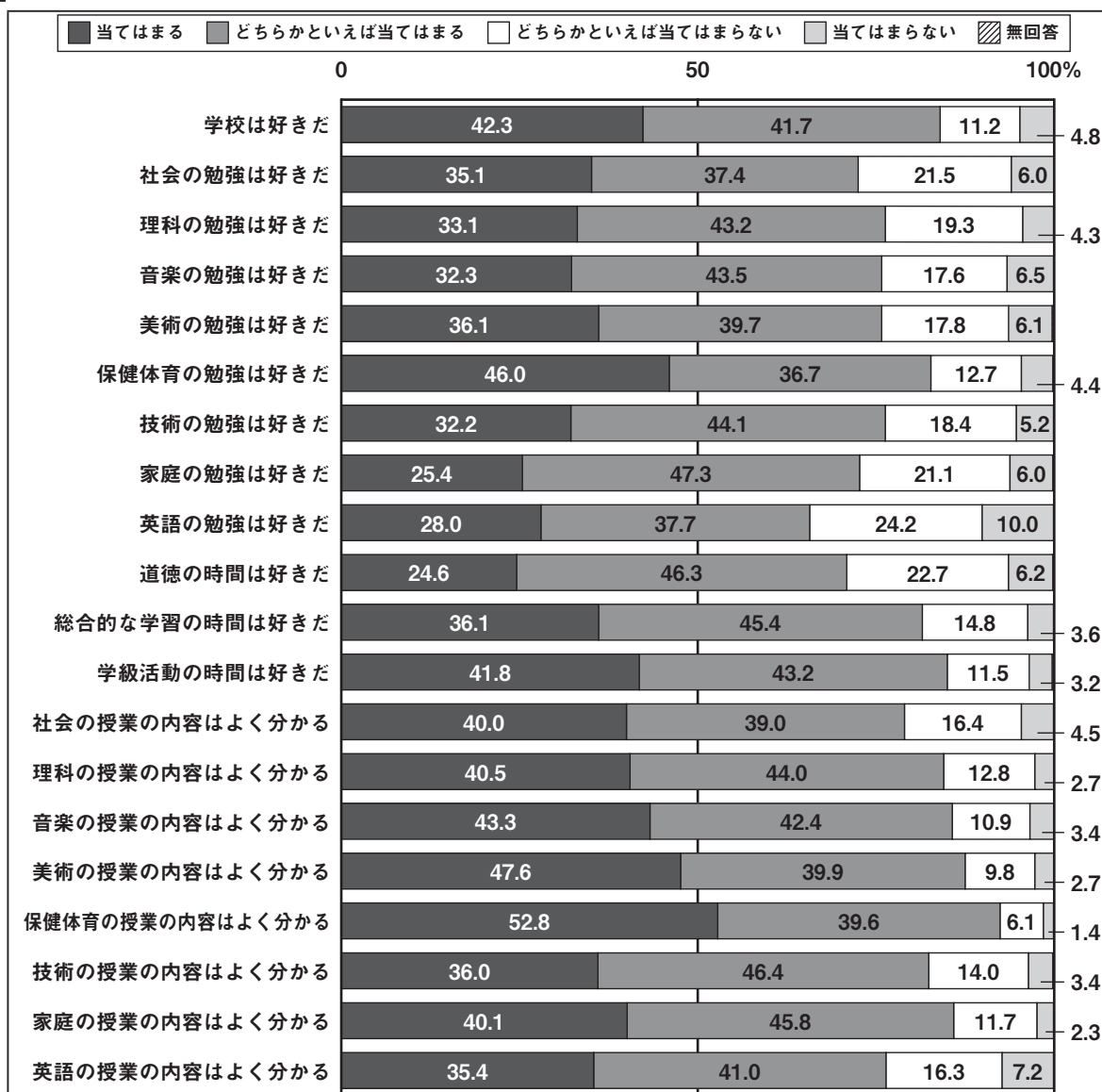
次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。



《中学校第3学年》 学校数（生徒数）：84校（2,441人）

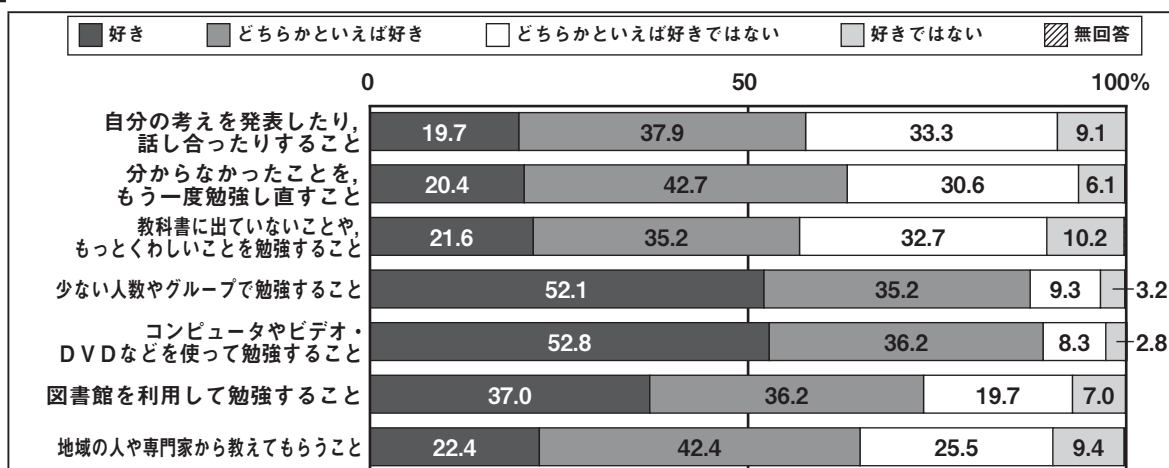
1

あなたは、次のことについてどのように思っていますか。



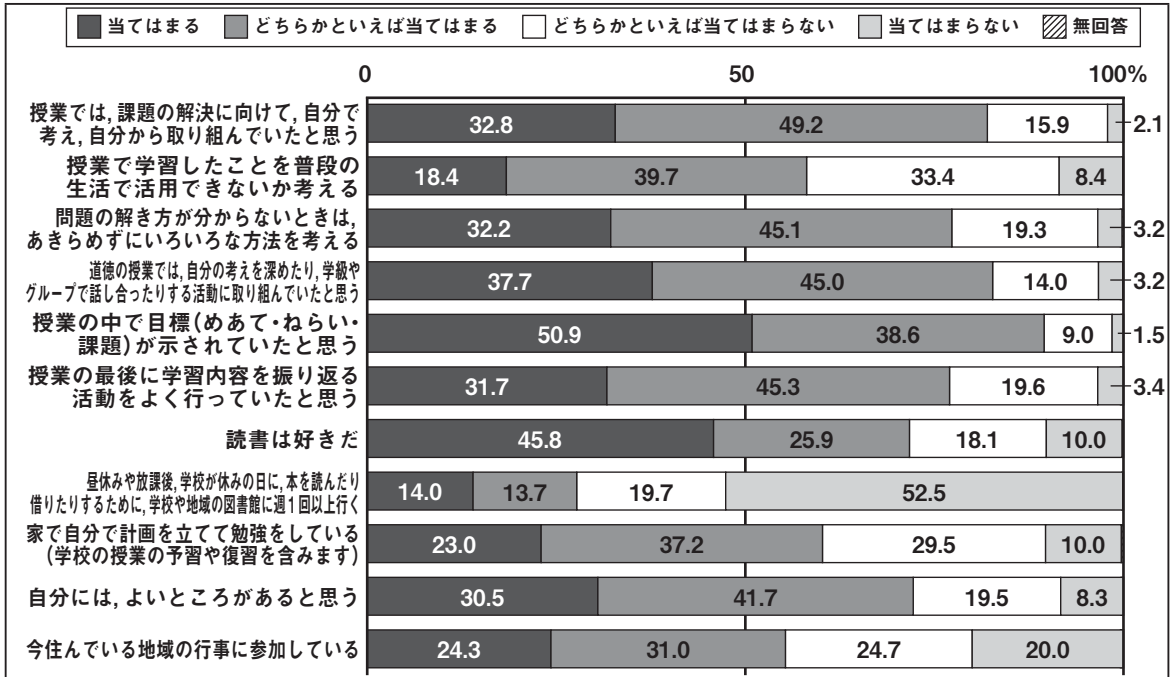
2

あなたは、授業の中で次のようなことは好きですか。



3

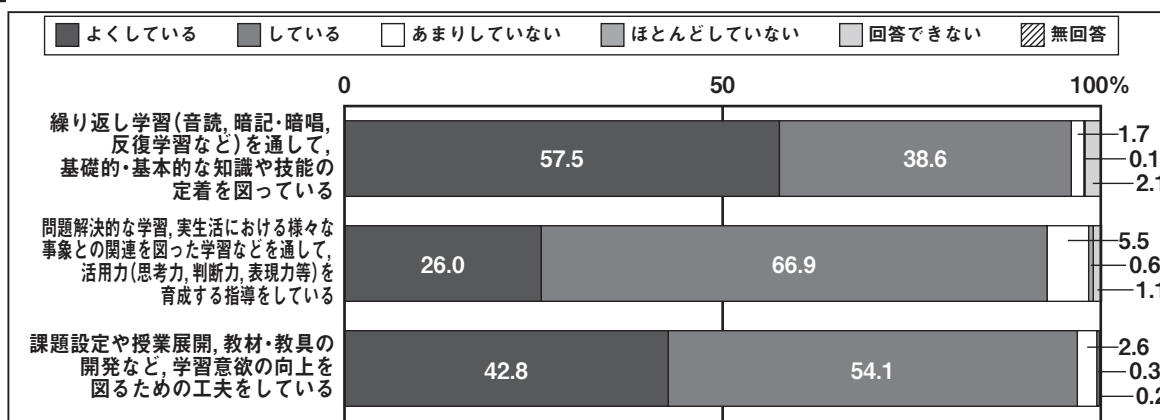
次のことは、あなたにどれくらい当てはまりますか。



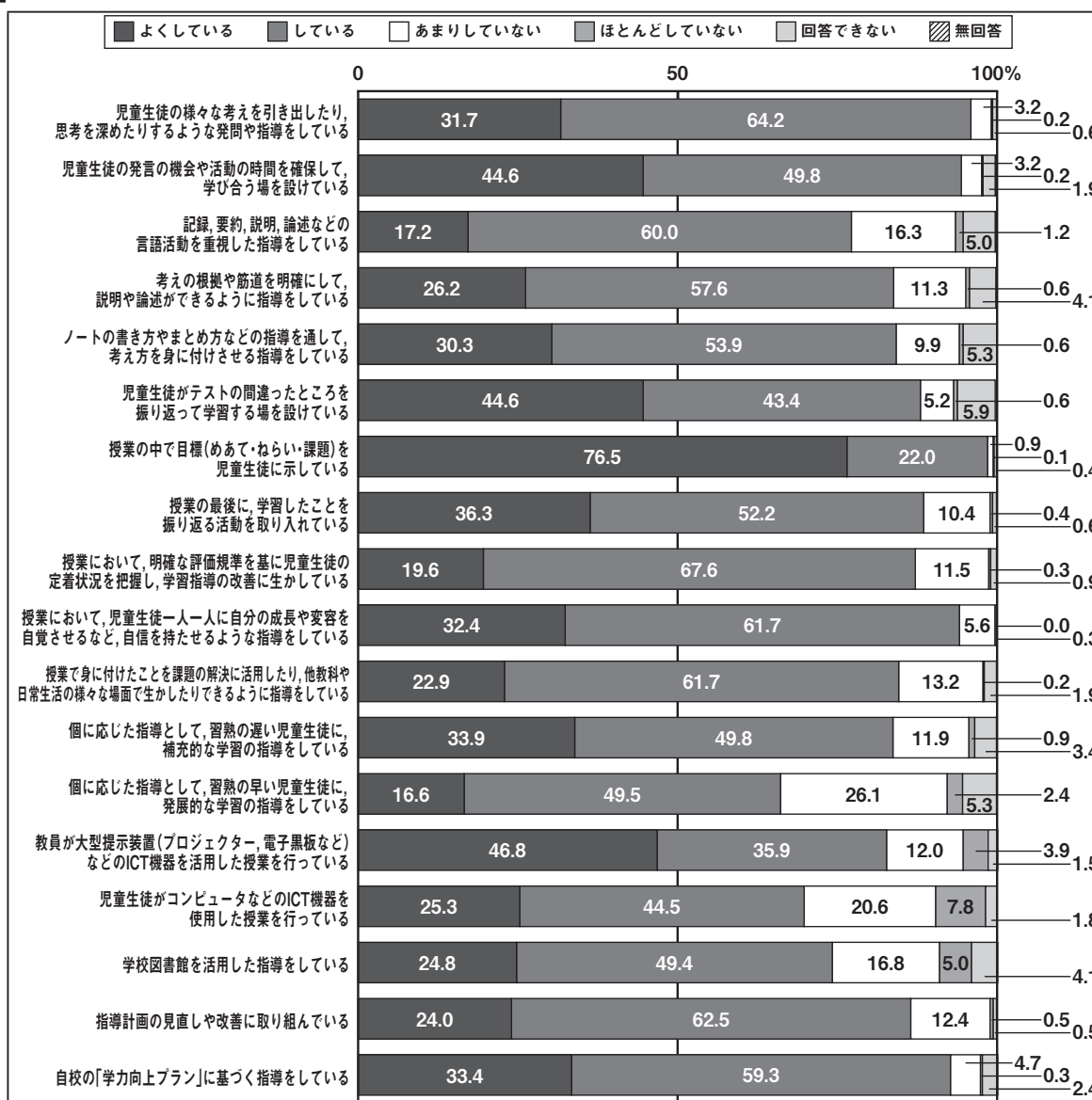
《小学校教員》 抽出校数（教員数）：67校（1,090人）

次の指導等を，昨年度からどの程度行っていますか。

1 学力の重要な要素に関すること

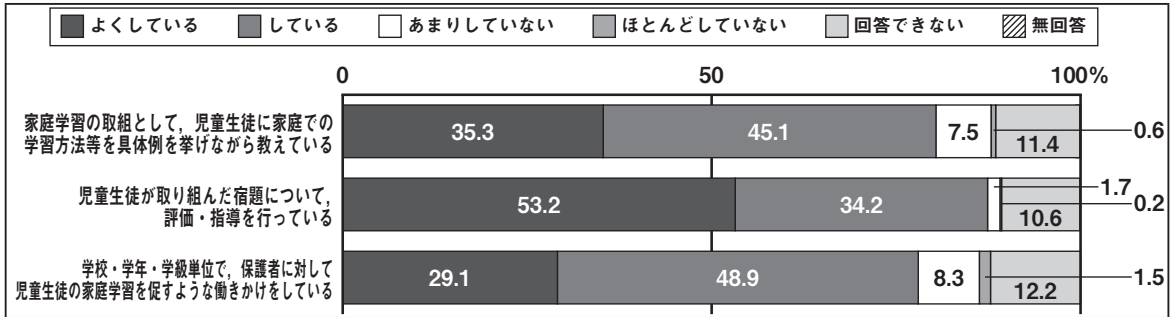


2 教科等に関すること



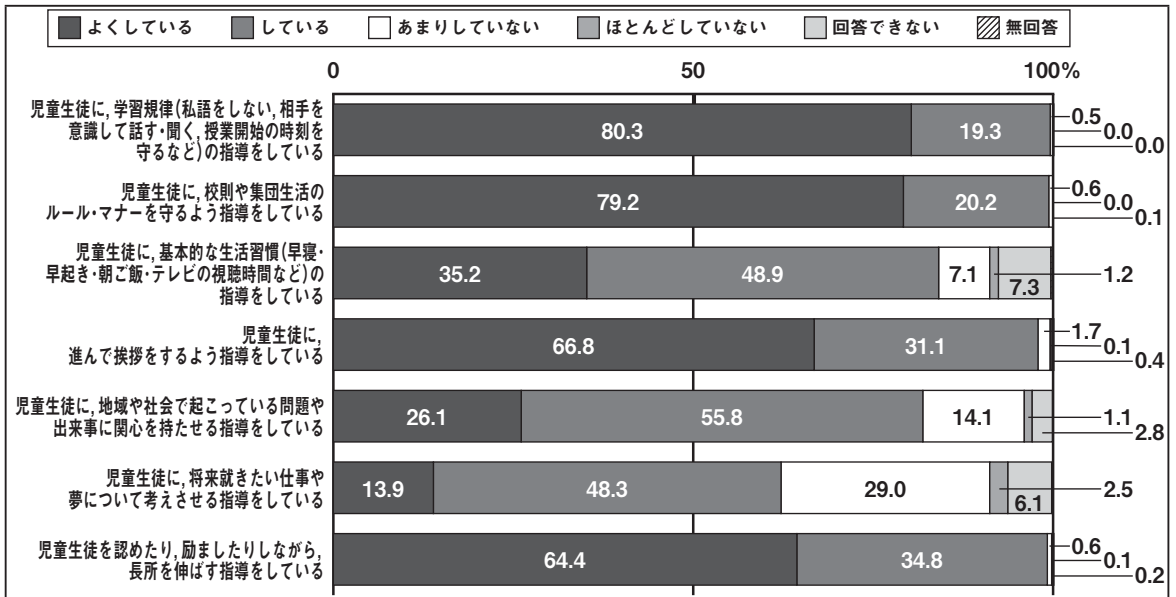
3

家庭学習に関すること



4

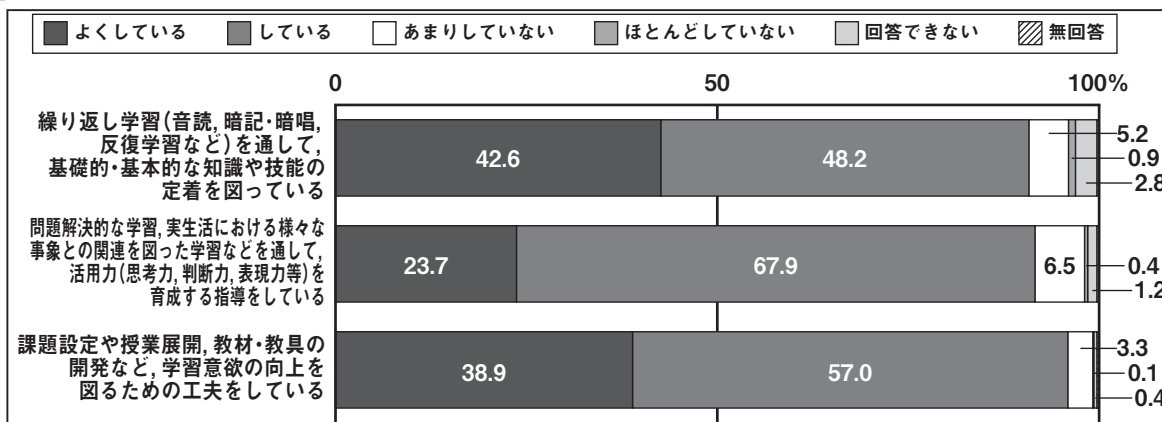
学習規律等に関すること



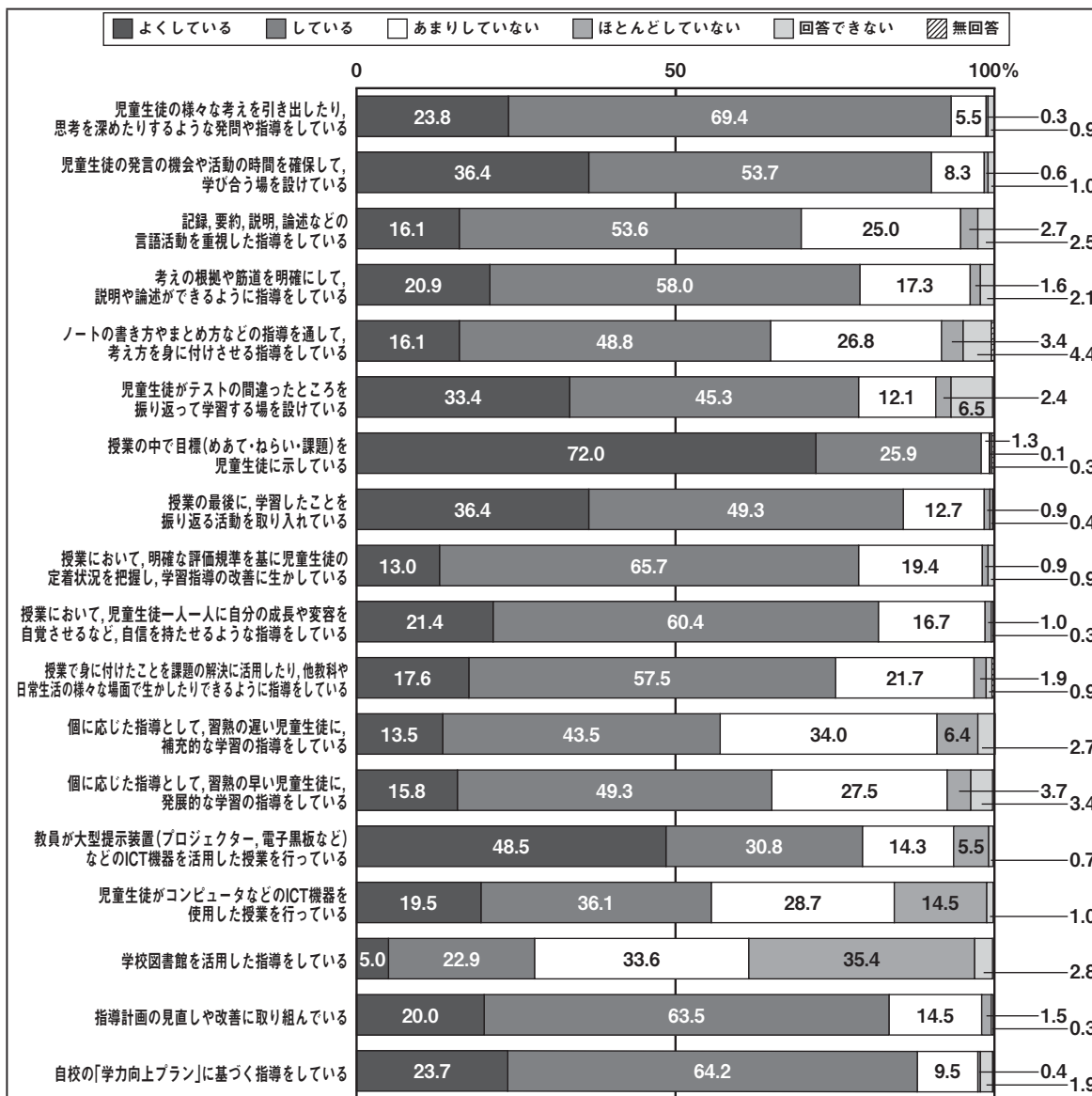
《中学校教員》 抽出校数（教員数）：32校（676人）

次の指導等を，昨年度からどの程度行っていますか。

1 学力の重要な要素に関すること

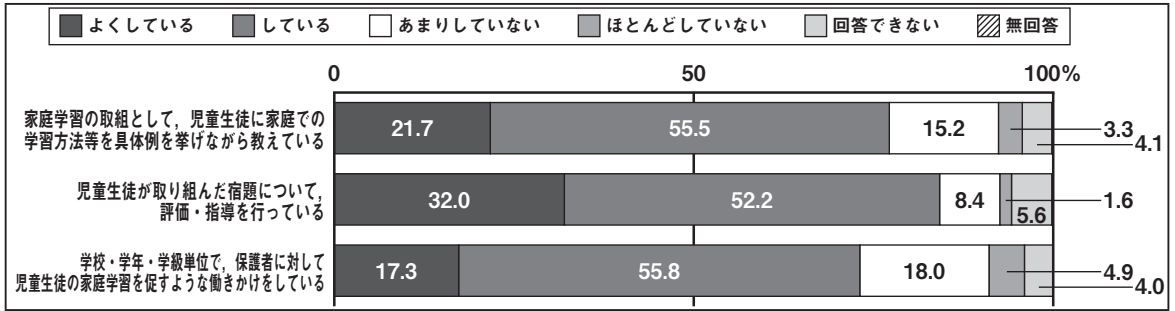


2 教科等に関すること



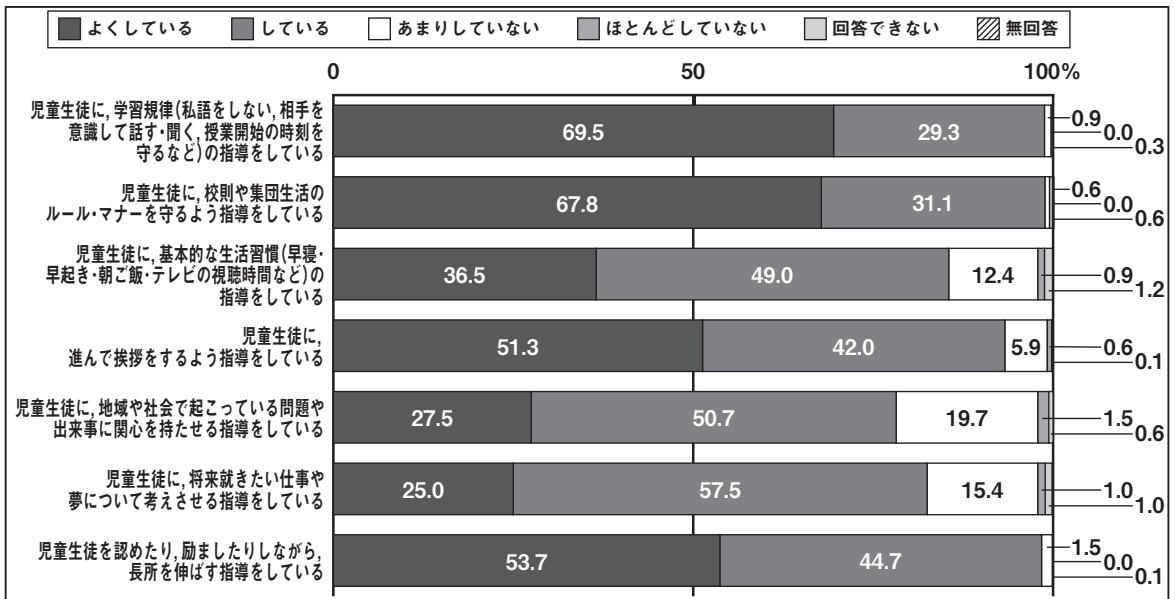
3

家庭学習に関すること



4

学習規律等に関すること



令和3年度

「基礎学力調査」—結果の概要—

令和3年8月発行

石川県教育委員会事務局学校指導課

〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地

TEL 076-225-1827

e-mail : gakusi@pref.ishikawa.lg.jp